



IT生活のすすめ

このコーナーでは、市民ITセンターで開催する講習の予定や、パソコン用語など、皆さんに役立つIT関連情報をご紹介します。

市民ITセンター ☎541101

パソコンで図書館の書籍を検索してみよう!

図書館では、現在約14万冊の書籍を所有しています。この多数ある書籍の中から目的の本を探すのに便利な「蔵書の検索処理」が、市ホームページ（図書館のページ）で行うことができます。蔵書の検索は、書籍名や著者、出版社などから行うことができ、書籍の所蔵状況や貸し出し状況を確認することができます。また、図書館が新たに購入した書籍を分類別に一覧表示することもできます。

検索のほかにも、パソコンから書籍の予約をすることができます。読みたい本や雑誌が貸し出し中の場合には、予約ができ、本が返却されると図書館から電子メールでお知らせをします。ただし、予約をするにはあらかじめ図書館で利用者登録申請を行い、ユーザーIDとパスワードを受け取る必要があります。

読みたいと思っている本がありましたら、図書館に所蔵されているのかどうか、一度検索してみたいでしょうか。



図書館の蔵書検索は、市ホームページのトップページ左側メニュー「図書館蔵書検索」から見るすることができます。



阪神・淡路大震災だけでなく、平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震をはじめ、近年発生した大地震においては、築年数の経過した古い木造住宅に被害が集中しています。特に昭和56年5月31日以前に着工された建物は、建築基準法で耐震基準が強化される前に建てられたものであり、その耐震性に問題があること

平成7年の阪神・淡路大震災では、多くの尊い命が失われました。その犠牲者の死因の約8割が、建物の倒壊などによる圧死や窒息死でした。そのため、地震対策においては、まず何よりも丈夫な家に住むことが最も重要なポイントであるといえます。丈夫な家に住むことは、建物の倒壊による直接的な被害を少なくするだけでなく、建物の倒壊を起因とした火災も起きにくくします。また、建物の倒壊による犠牲者が少なくなることで、地震発生初期段階において救助する側の人材が増加するなど、さまざまな効果をもたらすことが考えられます。

～備えあれば憂いなし～

地震防災講座

住宅の耐震化

が多くみられます。そのため、建物が地震に対して安全であるかどうかを診断しておくといでしょう。また、耐震診断の結果、耐震性に問題があった場合は、補強工事などの対策を講じることが必要です。市では、木造住宅に対する耐震診断やその結果の耐震補強工事に対して、一定の条件を下に費用を補助する制度があります。

木造住宅耐震診断費・同補強工事費の補助に関する問い合わせは、都市計画課までどうぞ。

今回で、この地震防災講座は終わりになりますが、これからも家庭や職場での地震対策を怠らないようにしましょう。



総務課 防災係
内線224